

## 化学工学専攻 X線 CT 装置 FLEX-M345CT

製造元	株式会社ビームセンス
仕様	X線 CT 装置 (FLEX-M345CT)、最大空間分解能 5 $\mu\text{m}$ (2次元透過像)、試料サイズ 100 mm $\times$ 100 mm 以下
保有部署	化学工学専攻
設置場所	桂・A2棟・1階 119室 化学工学専攻共通分析機器室
利用期間・時間、 利用料金	本設備の共同利用規程を参照 <a href="https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/research/yui/naiki/20210210-kako-xct">https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/research/yui/naiki/20210210-kako-xct</a>
注意事項等	エックス線業務従事者の登録を受けているもののみ使用可。 また使用前に使用者講習の受講が必要です。 ただし、講習会は不定期の開催です。受講申込から講習会開催まで時間がかかることがある点、ご了承ください。
連絡先	化学工学専攻界面制御工学分野 准教授 渡邊 哲 075-383-2682 nabe@cheme.kyoto-u.ac.jp
キーワード	3次元構造解析、多孔体、微細構造
機器コード	0000102001
自由記入欄	小型エックス線 CT 装置のため、手軽に測定が可能です。特別な前処理なしに、高分子多孔体や凍結乾燥試料の3次元構造解析ができます。比較的大きい材料の測定も可能です。試料サイズが大きいと分解能が低くなるため、測定前にご相談ください。(左画像) XCT 装置写真。(右画像) 糖溶液の凍結乾燥試料の XCT 像。試料サイズは 10~30 mm 程度であり、画像は内部構造を切り出して可視化したもの。3次元像の長辺は 5 mm 程度。

